

# 産技センターのあり方について

平成30年6月4日

経済部 モノづくり支援室

# 産技センターのあり方について

産技センターについては過去の包括外部監査で以下のような指摘を受けている。

- 当センターのように老朽化が進んでいる公共施設は他にも数多く存在するが、修繕・建替え等計画が十分に行われていない。
- 利用度が高い施設であれば雨漏りや地震等への対策が必要。低いのであれば他の施設と統廃合を含めた検討が必要。
- 「モノづくりのまち」東大阪としては市の顔ともなる施設であり、弾力的な施策が期待される。

～平成19年度包括外部監査指摘より抜粋～

- 平成19年度の包括外部監査時の状況から大きな進展はないものと推測される。東大阪市の産業振興施策として当センターのような技術支援施設の直接貸与を維持継続するのかといった観点も含め、今後の施策の継続を含めたあり方を検討することが望ましい。

～平成28年度包括外部監査指摘より抜粋～

# 産技センターのあり方について

- 建物について

耐震性:耐震性能は目標基準値をクリア。(平成22年8月 耐震性能判断表)

保全:市有建築物保全計画に基づき、費用を平準化して保全に努める計画を策定。

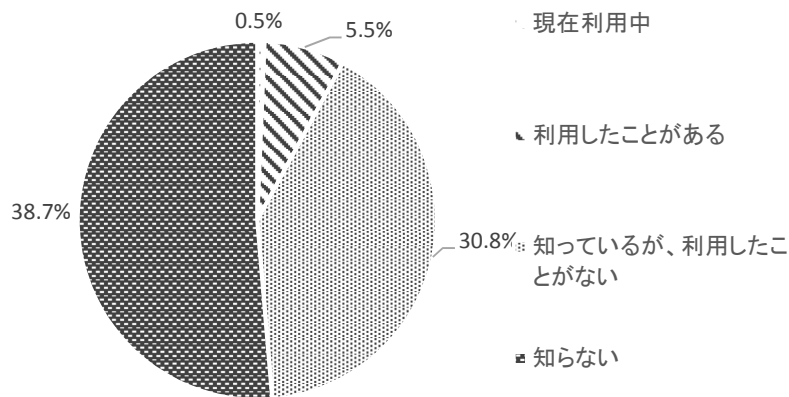
⇒平成30年度に実施する高付加価値新製品化支援事業において試作工房の様様替えを行う。

- 利用率について

機器利用、技術相談・指導の件数は大幅な増加傾向にある。会議室等や試作工房の利用率は低迷している(下図「産技センターの利用実績」参照)。

⇒東大阪市中企業振興会議の提言である『東大阪市中企業振興に関する提言』(平成27年7月)において、センターの利用者からの評価は高いが、認知度が低いとの指摘を受けている。

産技センターの認知度



産技センターの利用実績

